

令和6年度道路整備促進高知県大会 (主催:道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会)

大会次第

- (1) 開会
- (2) 主催者挨拶
- (3) 来賓挨拶
- (4) 来賓紹介
- (5) 道路行政をとりまく最近の情勢について
国土交通省 道路局
環境安全・防災課長 伊藤 高 様
- (6) 講演「国土強靱化の推進について」
東京海上日動火災保険(株)
顧問 村山 一弥 様
- (7) 鼎談「道路を活用した地方創生について」
東京海上日動火災保険(株)
顧問 村山 一弥 様
(株)MBCプロデュース
代表取締役 前原 敬子 様
道路整備促進期成同盟会
高知県地方協議会 会長 池田洋光
- (8) 決議採択
- (9) 閉会

令和6年5月13日(月)、城西館(高知市)において、濱田知事、四国地方整備局佐々木局長、西日本高速道路(株)四国支社布川支社長、高知県議会議員をはじめ、ご来賓の方々、会員の市町村長、議会議長などをあわせ約190名の方々の参加のもと、「令和6年度道路整備促進高知県大会」を開催しました。

大会では、国土交通省道路局伊藤環境安全・防災課長から、「道路行政をとりまく最近の情勢について」情報提供いただき、東京海上日動火災保険(株)村山顧問から、「国土強靱化の推進について」と題してご講演いただきました。

また、講演後は、村山顧問、(株)MBCプロデュース前代表取締役、池田会長により「道路を活用した地方創生」について鼎談を行いました。

最後は、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源の確保や国土強靱化実施中期計画の早期策定、高規格道路のミッシングリンクの解消など、4項目の決議を満場一致で採択しました。

主催者・来賓挨拶



主催者
会長 池田 洋光

- 本県の8の字ネットワークは、令和6年度予算において、新たに2箇所が同時に事業化され、全線着手となった。
- また、令和7年春頃には2箇所が開通が予定されているなど、ミッシングリンクの解消に向け、着実に前進している。
- 道路整備を進めるためには、まずは予算の確保が必要。会員が一致団結し、道路整備が長期安定的に進められるよう、新たな財源の創設に向けて取り組む。



高知県知事
濱田 省司 様

- 本県の緊急輸送道路ネットワークの根幹を成す四国8の字ネットワークが全線着手となったこと、大変嬉しく感じている。
- 先月発生した、県内で最大震度6弱を記録する地震や、能登半島地震を受け、国土強靱化の必要性はますます高まっている。
- 県政の最重要課題である人口減少問題へ対応するうえでも、道路の整備を強力に推進していく必要がある。



四国地方整備局
局長
佐々木 淑充 様

- 元日の能登半島地震の被害状況を踏まえると、四国も決して他人事ではない。
- 災害発生時の救助・救出活動には道路が不可欠であり、8の字ネットワークの整備を推進する。
- 本年度は、高知県内の8の字ネットワークの全線着手もあり、また令和7年春頃には「高知龍馬空港～香南のいち」間など開通が予定されているが、道路整備を進めるためには、予算の確保が必要。四国全体の予算確保に努めてまいります。



西日本高速道路(株)
四国支社 支社長
布川 勝正 様

- 高速道路は生活・経済に欠かせない重要インフラであり、災害発生時の被災地の救援・復旧にあたっては非常に重要。
- 大規模な災害に備え、関係機関のみなさまとも災害対応訓練に取り組むほか、災害時の「命の道」となる役割を全うできるよう、高速道路の充実に向け、努めてまいります。
- また、平成30年豪雨により高知道の立川橋が流失したことを踏まえ、暫定2車線区間の4車線化についても、重要な施策と認識している。

情報提供

【道路行政をとりまく最近の情勢について】国土交通省 道路局

環境安全・防災課長 伊藤 高 様

- 今、骨太の方針の議論が進んでいるタイミング。ここで中期計画策定期も決まる。
- 高知の8の字は、効率化のみで議論はできない。「社会ミニマム」の視点が必要。
- 今年度の強靱化予算増は、要望活動等で戦略的ネットワークの必要性が伝わった証。
- 高知にも半島があり、能登地震は教訓になる。今回は、道路本体の被災が大。無電柱化の必要性も実感した。県内市町村でも「無電柱化推進計画」策定をお願いしたい。
- 今後の主要施策の基本方針として、ダブルネットワーク、4車線化、都市間速達性等をさらに訴えていく。



講演・鼎談

【国土強靱化の推進について】東京海上日動火災保険(株) 顧問 村山 一弥 様

- 南海トラフ巨大地震は東日本大震災の10倍程度の被害が推定されており、事前に準備することで、復興にかかる時間も費用も大幅に短縮できる。
- 昨年7月からの新たな国土強靱化基本計画では、これまでの3本柱に「デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化」、「地域における防災力の一層強化」を加えた5本柱となっている。
- 南海トラフ地震に備えるうえでも国土強靱化を進めていく必要がある。



▲村山顧問

【道路を活用した地方創生について】東京海上日動火災保険(株)顧問 村山 一弥 様
(株)MBCプロデュース 代表取締役 前原 敬子 様
(進行役) 会長 池田 洋光

前原様- 8の字ネットワーク全線着手に合わせ、地域戦略を考える時期にきている。観光による地域づくりを中心としたマーケティングにより、需要を産み出し、交流人口の増加を図ることが重要である。

村山様- 財源が厳しい中、公共事業が予算の削減対象となっており、整備した道路が活用され、必要であることを改めて認識してもらうことが必要。

前原様- 道路整備を促すとともに、来訪者に選ばれるためには、各自治体という点が道路という線で繋がり、面として地域の魅力発信することが重要である。

村山様- 地元の声も重要であるが、今の高知に来てくれている来訪者にも応援団になってもらうことが重要である。道路が良くなれば、リピーターになってもらえる。

池田 会長- 本日は大変多くの方に集まっていただきました。今後とも、皆様で協力して道路整備及び町づくりを進めて参りましょう。



▲前原代表取締役



▲左から池田会長、村山顧問、前原代表取締役

決議

- 決議案を力強く朗読。全会員の賛同をいただき、道路整備促進期成同盟会高知県地方協議会として採択した。



副会長 中平 正宏

閉会挨拶

- 令和7年春頃には南国安芸道路の高知龍馬空港IC～香南のいちIC間の開通が予定されるなど、四国8の字ネットワークをはじめとする本県の道路整備は着実に前進。
- 引き続き、各市町村が直面している様々な課題の解決に不可欠となる道路整備を着実に進めるため、会員が一丸となって取り組んでまいります。



副会長 横山 幾夫

